



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」

聖書(第1コリント書3章6節)

牧師 河合裕志

パウロは「わたしは植えた」という。これは彼がコリントの町に行ってキリストの福音の種を蒔き、信じる人々が出て来て、教会が成立したことを指している。パウロはコリント教会の開拓者。

「アポロは水を注いだ」とはパウロの後を引き継いだアポロがコリントの信徒達に説教して、福音にどこまでも踏みとどまって行くように励まし導いたこと。

「しかし」この二人の働きがあれば充分か、というところではない、そこに「成長させてくださった神」がなければ、とパウロは言った。

これはどういうこと？植物の成長を考えれば察しがつくというもの。種を植え、水を注ぐ。しかしそこに太陽の熱、雨がなければ成長は難しい。それに大地の存在も。こうしたものがあって作物は大きくなって行く。これらは神の恵みと言うべきもの。

これを今信仰の世界に適用するとどうなる？①信仰の芽が出るのは聖霊によるということ。パウロは「聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』とは言えないのです」と言っている(第1コリント12章3節)。イエスの霊である聖霊が一人一人に働きかけて、イエスは主、わが救い主と信じられるようになる。

②信仰が途中で無くならないで維持され

る、それは天上におけるイエスの祈りのお陰ということ。「わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った」とイエスは述べている(ルカ22章32節)。イエスの不断の祈りに私の信仰は支えられている。

③遂に信仰が実るのも聖霊によること。パウロは言う。「霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です」(ガラテヤ5章22節)。素晴らしい9つのカルポス、実。これらを聖霊はわが内において、自己中心の壁に風穴を開け、実りをもたらすために働き続けてくれている。

以上信仰の発芽、成長、実りには神、イエス、聖霊の助けが欠かせない。パウロやアポロの働きは必要なこと。彼らの働きは神の働きに協力する者と言ったらよいかも。このことを知ってコリントの人々よ、私パウロやアポロを何か偉い者であるかのように担ぎまわらないでほしい、担ぐならただ神のみ、このところをパウロはここで言いたかった。ついに山の大將になりたがる私達をパウロは厳に戒めている。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時